

第50回広瀬川創生プラン策定推進協議会

日 時:令和7年 10月 31日(金)
(書面開催)

次 第

1. 議 事

(1) 第49回協議会振り返りと今後の方向性について

資料1

(2) 令和7年度重点事業の認定について

資料2

○配布資料

資料1 第49回協議会振り返りと今後の方向性について

資料2 令和7年度重点事業の認定について

参考資料1 広瀬川創生プラン策定推進協議会設置要綱

参考資料2 令和7年度取組事業一覧(案)

参考資料3 令和7年度広瀬川創生プラン 重点事業認定制度 取組事業募集要項

広瀬川創生プラン策定推進協議会委員名簿

第10期(令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役職	氏名	役職又は団体名	備考
	一井 利光	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所 流域治水課長	
	岩崎 雄一郎	東北電力株式会社宮城支店 広報担当部長	
	大場 秀行	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 副委員長	
会長代理	小田 隆史	東京大学大学院総合文化研究科 准教授 日本河川教育学会 理事	
会長	小祝 慶紀	東北工業大学ライフデザイン学部 学部長	
	今野 義則	仙台市片平市民センター 館長	
	西城 あや	一般社団法人個育てコーチング協会 代表理事	
	笹村 欣司	ニッカウヰスキー株式会社仙台工場 理事工場長	
	佐藤 奈緒子	なおコンサルティング 代表	
	多田 千佳	東北大学大学院農学研究科 准教授	
	田名部 一朗	宮城県仙台土木事務所 河川部河川砂防第一班 技術主幹(班長)	
	豊嶋 純一	特定非営利活動法人都市デザインワークス せんだいセントラルパーク縁長	
	中嶋 紀世生	宮城大学研究推進・地域未来共創センター コーディネーター	
	谷田貝 泰子	特定非営利活動法人水・環境ネット東北 事務局長	
	山本 琴枝	仙台商工会議所女性会 常任委員	

(敬称略・五十音順)

第49回協議会振り返りと今後の方向性について

1. 第49回協議会での意見に対する検討結果について

第49回協議会において、新たな「重点事業認定手順について」を提案し、概ね了承されたところであるが、以下に示す4点についてご意見をいただいた。

これらのご意見への対応について、事務局において検討を行ったため、下記のとおりお示しする。

(1) 重点事業にかかる認定件数について

(意見①) 重点事業として採択する数に上限をつけるべきではないか。

(検討結果①) 今後の動向を注視し、申請件数が年々増加するなどした場合は、必要に応じて検討していく。

(2) 仙台市の支援内容について

(意見①) 市職員の当日参加は、市民の役割を奪うことにもなるため、取組事業のプロセスの中の企画支援や助言など、当日の支援を前提としない方が良いのではないか。

(検討結果①) 募集要項に人的支援は記載せず、取組に対する事務的な支援を記載した。

【参考資料3：2～3ページ「2 重点事業のメリット」参照】

(意見②) 仙台市からの人的支援より、活動のための必要な手続きの相談に乗ってもらえるなど、情報共有しながら仙台市と連携して実施できるような支援を求めている。

(検討結果②) 募集要項において、「重点事業のメリット」として、具体的な支援内容(助成金支給や情報発信支援、事業に関する個別相談)を記載した。

【参考資料3：2～3ページ「2 重点事業のメリット」参照】

(意見③) 重点事業として決定した後の支援内容も検討し、協議会へ提出する資料の情報をまとめていただきたい。

(検討結果③) 重点事業認定後の仙台市の支援内容について、今後各団体と調整の上、協議会資料に記載する。

【資料2：5、7、9、11ページの「支援内容」参照】

(3) 重点事業の募集について

(意見①) 重点事業の選定要件について、「重点事業の基本的な考え方」の3つの要件をすべて満たすものということが重要であるため、記載すべき。

(検討結果①) 募集要項に、重点事業の選定要件のすべてを満たす必要があることを記載した。

【参考資料3：3ページ「3 選定の要件」参照】

(意見②) 重点事業に認定されることで、市からどのような支援が受けられるのか、具体的な内容を取組団体は求めるため、支援内容に係る情報も募集の際にあると良いのではないか。

(検討結果②) 募集要項に、重点事業認定のメリットとなる具体的な支援内容を記載した。

【参考資料3：2～3ページ「2 重点事業のメリット」参照】

(意見③)重点事業の対象期間を年度で締めるなど、具体的な期間を示すと良いのではないか。
(検討結果③)募集要項に、重点事業の対象期間を年度で区切ることを記載した。

【参考資料3：4ページ「5 事業の期間」参照】

(意見④)助成金の上限額など、数字が見えることで、応募しようという気持ちがでてくるのではないか。
(検討結果④)助成金の上限額の設定については、本市の予算との兼ね合いもあることから、助成金を希望する団体数や希望する金額など、今後の動向を注視し、継続して検討していく。

(4)重点事業のマネジメントについて

(意見①)小規模にも適用することで、件数も増加することを想定すると、仙台市のリソースにも限りがあるため、役割分担を明記することが必要となってくるのではないか。

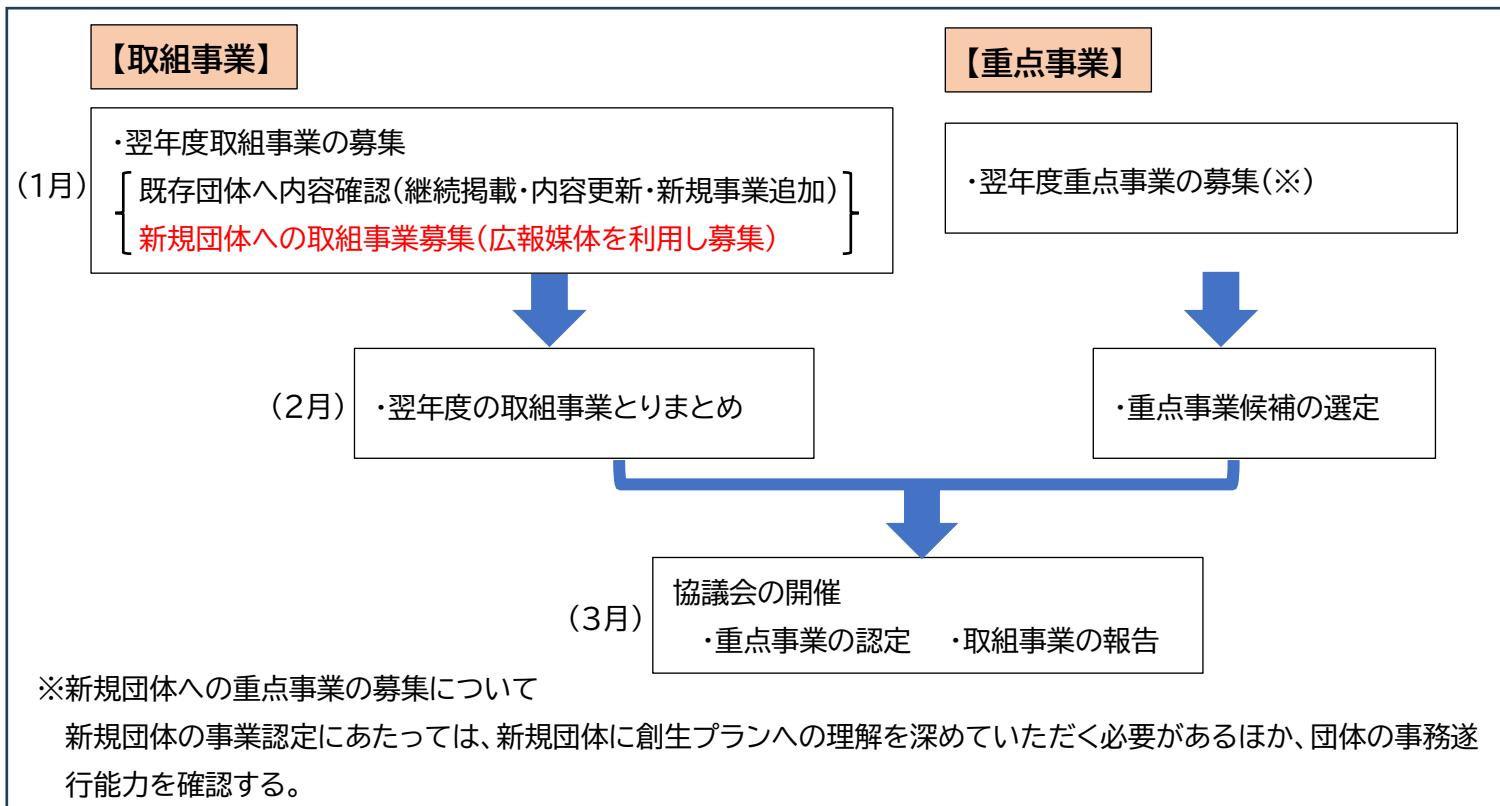
(検討結果①)重点事業認定の段階で、支援内容等について明確にしていく。

(意見②)市民に知られた大規模なイベントで、重点事業として認定されていない取組みもある。今後小規模事業も対象となるが、大規模事業と小規模事業のアンバランスを是正するような重点事業制度となってほしい。

(検討結果②)現段階においては、間口を広げることを目的とし、様々な取組事業が重点事業として位置付けられるよう、広瀬川ホームページや広瀬川インスタグラム等のSNSを通じて幅広く広報するほか、重点事業になり得る事業の活動団体への声掛けを行っていく。
その結果として申請件数・認定件数の増加に伴い、偏りが見受けられる状態となった場合に、適正化にむけ改めて検討していく。

2. 令和8年度以降の取組事業及び重点事業の募集方法について

これまでの取組事業の募集及び重点事業の募集は、過年度の取組事業一覧に記載の団体を対象に行ってきた。今後は、より多くの広瀬川に関する取組事業を募集することも含め、下記のとおりのフローで取組事業及び重点事業の募集を行う。



令和7年度重点事業の認定について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第50回広瀬川創生プラン策定推進協議会

1

目次

- 1.重点事業認定制度について
- 2.令和7年度重点事業候補について
- 3.事業負担金の支出について(参考)

1.重点事業認定制度について

【制度の概要】

広瀬川の魅力を発信する上で効果的、かつ、「重点事業認定の基本的な考え方」に合致する事業は、協議会において重点事業として認定。 …プラン冊子p.39

【認定の手順】

令和7年度より、取組団体からの公募制とし、下記「★重点事業選定要件★」にすべて該当する事業を、重点事業認定候補として協議会へ提出し、協議会での認定後、各団体へ重点事業認定書を交付する。

★重点事業選定要件★ 以下(1)(2)の要件すべてに該当すること

(1)「広瀬川の魅力を発信する上で効果的」な事業であるか

…プラン基本目標の「iv 河川への関心の向上」「v 市民協働の仕組みづくり」
いずれかを含む事業であること

(2)「重点事業認定の基本的な考え方」すべてに合致する事業であるか

- 「複数の主体が連携・協力できる取組みであること」
市民・NPO・行政・企業などの主体が、お互いを尊重しつつ力を合わせて協働できるもの。
- 「市民が広く参加できる取り組みであること」
世代・地域・立場などを超えて、市民が気軽にかつ自発的に参加ができるもの。
- 「ソフト中心の取り組みであること」
川づくりの中でも、広瀬川の自然環境等を活かしたソフト中心のもの。

3

2.令和7年度重点事業候補について

■重点事業の公募の結果、4団体より申請を受け付けた。

事務局における選定結果より、4団体を重点事業認定候補として提出する。

応募団体	取組内容
広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃
GARDEN of RIVER,SENDAI project	広瀬川大橋 水辺の青空学校
広瀬川灯ろう流し実行委員会	広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートのタベ」
閑山街道フォーラム協議会	「閑山街道の四季フォトコンテスト」記念パンフ作成

※候補事業については、事業ごとに、以下の項目を整理し、次ページ以後にお示しする。
また、事務局における選定作業の結果についても、併せて掲載する。

- 「実施主体」…事業を主体的に実施する団体名
- 「事業概要」…事業の目的や内容の概要
- 「実施場所」…主な実施場所
- 「当年度の取組み」…令和7年度に予定されている具体的な活動内容
- 「成果目標」…事業を通じて目指す成果や目標値
- 「支援内容」…仙台市の支援内容

4

2. 令和7年度重点事業候補について

－候補①－ 広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃

■実施主体: 広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

■事業概要: 仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、市民・企業・行政が連携して広瀬川流域を含む河川・海岸一斉清掃を年2回(春・秋)実施。

■実施場所: 秋の一斉清掃 18会場

■当年度の取組み: 秋の一斉清掃の開催

(11月8日(土)／予備日11月15日(土))

※春の一斉清掃は4月19日(土)に実施済み(重点事業対象期間外)

■成果目標: 秋の参加者数 1,700人程度 (※参考 春の参加者1166人)



■支援内容: ①太白大橋会場の運営

②清掃日当日の参加(牛越橋会場、瀬橋会場、千代大橋会場、八本松会場へ各1名)

③翌日のゴミ回収(牛越橋会場、瀬橋会場、仲ノ瀬橋会場、大橋右岸会場、宮沢橋会場、千代大橋会場)

5

2. 令和7年度重点事業候補について

－候補①－ 広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃

【参考】事務局選定結果(要件との照合)

要件	該当性	補足
①プラン基本目標(iv)(v) いずれかに該当	該当(iv)(v)	基本目標iv「河川への関心向上」の施策の方向⑨「広瀬川に関する催しの実施」及び基本目標v「市民協働の仕組みづくり」の施策の方向⑩「市民参画型事業の推進」に該当。 清掃により広瀬川に訪れる機会を創出し、自然環境を再認識できる活動。 また、団体・企業・行政の連携による実施体制で、市民も参加可能なイベント。
②重点事業の基本的な考え方 複数の主体が連携・協力できる	該当	実行委員会形式で、団体・企業・行政が連携・協力し実施。
②重点事業の基本的な考え方 市民が広く参加できる	該当	公式HPで広く募集を実施し、各会場で市民も参加可能。
②重点事業の基本的な考え方 ソフト中心の取り組み	該当	広瀬川の清流を守るための環境美化活動。

6

2. 令和7年度重点事業候補について

－候補②－ 広瀬川大橋 水辺の青空学校

■実施主体: GARDEN of RIVER, SENDAI project

■事業概要: 河川への関心を高めるため、水辺空間での除草活動(動く)、
河川の各専門家の講座(学ぶ)、水辺での食事(食べる)を通して、
総合的、体験的に河川を知る機会と交流の場をつくり、
まちづくりにつなげるイベントを開催する。



■実施場所: 広瀬川大橋左岸または右岸

■当年度の取組み:

8月 大人のための川遊び講座
9月 川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～
10月 川の成り立ち水辺の石から学ぶ
11月 仙台城下と四ツ谷用水
12月 水辺を歩く
1月～3月 調整中

※参考 4月 川づくりの歴史～自然のチカラ・世の中のシカケ・住民のヤルキ～
5月 いい川を未来に残すためには?～河川・流域まちづくりの視点～
6月 7月 「川と生き物から広瀬川を知ろう！」



■成果目標: 毎月1回のイベント開催

■支援内容: ①関係部署や行政手続きに関する助言等支援

②新規活動団体への手引き書作成支援

(「水辺の青空学校」の活動で関係した県や市の様々な部署、活動団体などを共有し、今後、新たに活動を希望する団体の参考となる手引き作成に協力する。)

7

2. 令和7年度重点事業候補について

－候補②－ 広瀬川大橋 水辺の青空学校

【参考】事務局選定結果(要件との照合)

要件	該当性	補足
①プラン基本目標(iv)(v) いずれかに該当	該当(iv)(v)	基本目標iv「河川への関心向上」の施策の方向⑨「広瀬川に関する催しの実施」及び基本目標v「市民協働の仕組みづくり」の施策の方向⑩「市民参画型事業の推進」に該当。 月1回の多種多様なイベントの開催により、広瀬川へ訪れる機会を創出し、あらゆる角度から広瀬川の魅力を再認識できる活動。 また、専門家との協働による市民参加型の体験学習イベント。
②重点事業の基本的な考え方 複数の主体が連携・協力できる	該当	イベントごとに専門家(※)を招いて協働で実施。 ※カワラバンや八木山フットパスの会、学識経験者等
②重点事業の基本的な考え方 市民が広く参加できる	該当	市民(一般・親子等)を対象としたイベントとして、毎回参加者の募集を実施。
②重点事業の基本的な考え方 ソフト中心の取り組み	該当	生き物探しや川遊びの体験型イベントや、専門家による講座の学習イベントにより、河川への関心を高める活動。

8

2.令和7年度重点事業候補について

－候補③－ 広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートのタベ」

■実施主体:広瀬川灯ろう流し実行委員会

■事業概要:広く仙台市民に親しまれる夏の風物詩としての伝統文化の伝承と、災害における犠牲者を弔うとともに、被災地の復興を祈願するもの。また、時代の移りわりと共に、戦災や震災の供養の心に加え、地域の振興と奉仕の心を通して人々の絆を強める行事である。



■実施場所:広瀬川宮沢緑地など

■当年度の取組み:

第36回広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートのタベ」の開催 (8月20日(水)開催済)

灯ろう流し・花火打ち上げ・ステージ発表・縁日出店・記念切手シートの作成等

■成果目標:広瀬川にまつわる歴史・文化に触れる機会を創出するとともに、改めて広瀬川の自然を、多くの市民や参加者に認識してもらうこと

■支援内容:広報支援

※今年度分については実施済であるため、告知ではなく実施報告により広報支援を行う。

実績報告を行う媒体は、広瀬川ホームページやインスタグラムを中心とする。

9

2.令和7年度重点事業候補について

－候補③－ 広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートのタベ」

【参考】事務局選定結果(要件との照合)

要件	該当性	補足
①プラン基本目標(iv)(v) いずれかに該当	該当(iv)(v)	基本目標iv「河川への関心の向上」の施策の方向⑨「広瀬川に関する催しの実施」及び基本目標v「市民協働の仕組みづくり」の施策の方向⑩「市民参画型事業の推進」に該当。 イベントを通じ、広瀬川へ訪れる機会を創出し、広瀬川に係る歴史・文化を再認識できる活動。 また、様々な団体が連携・協力して実施し、市民の誰もが参加できるイベント。
②重点事業の基本的な考え方 複数の主体が連携・協力できる	該当	実行委員会形式で、市民(町内会)・企業・行政等が連携・協力し実施。
②重点事業の基本的な考え方 市民が広く参加できる	該当	市民のだれもが参加できるイベントである。
②重点事業の基本的な考え方 ソフト中心の取り組み	該当	灯ろう流しや花火等により歴史・文化に触れ合うための活動。

2.令和7年度重点事業候補について

－候補④－ 「関山街道の四季フォトコンテスト」記録パンフ作成

- 実施主体**：（仮称）「関山街道の四季フォトコンテスト」記録パンフ作成実行委員会
- 事業概要**：宮城・山形両県をつなぐ関山街道（国道48号）沿線は、広瀬川や大倉ダム、白沢カルデラ等のエリアを対象とした写真の募集を「関山街道の四季フォトコンテスト」として5年間実施。その集大成として、入賞・入選作品等を取りまとめたパンフレットを作成し、来年度に向けたフォトコンテストの取り組みの周知や、今後さらなる地域の魅力の再発見につなげるツールとして活用する。
※応募作品は、沿線の風景の鳴四十八滝や大倉ダムなど、広瀬川に関連する写真もある。
今後は、関山街道沿線と広瀬川の魅力の再発見を促進するため「関山街道と広瀬川の四季フォトコンテスト」に拡大。
- 実施場所**：各関係施設（パンフレット配布）
- 当年度の取組み**：記念パンフレットの作成 および パンフレット配布等の広報の取組
- 成果目標**：関山街道沿線の市民センターや学校関係、仙山線の各駅、公共施設等、30ヶ所程度に配布するなど、広瀬川の魅力をより多くの市民へ伝えていく
- 支援内容**：パンフレット作成支援（校正等）
広報支援（HPなどによる広報。記念パンフレットの公共施設へ配架。）

2.令和7年度重点事業候補について

－候補④－ 「関山街道の四季フォトコンテスト」記録パンフ作成

【参考】事務局選定結果(要件との照合)

要件	該当性	補足
①プラン基本目標(iv)(v) いずれかに該当	該当(iv)(v)	基本目標iv「河川への関心の向上」の施策の方向⑧「市民への情報発信」及び基本目標v「市民協働の仕組みづくり」の施策の方向⑩「市民参画型事業の推進」に該当。 パンフレットをとおし、広瀬川の魅力や活動団体の取り組み、プランの情報を広く発信できる活動。 また、より多くの市民が参加するイベントとなるよう、実行委員会形式で、様々な団体と協力し、パンフレット作成及び広報を実施する事業。
②重点事業の基本的な考え方 複数の主体が連携・協力できる	該当	実行委員会を立ち上げ、団体・企業・行政で連携し実施。
②重点事業の基本的な考え方 市民が広く参加できる	該当	パンフレットに市民の作品が掲載され、市民向けに配布を行うもの。
②重点事業の基本的な考え方 ソフト中心の取り組み	該当	地域の魅力発信や市民の参加意欲を高める情報発信のための活動。

3.事業負担金の支出について(参考)

■重点事業の公募に併せ、負担金の希望調査も実施し、4団体中1団体より申し出があった。

応募団体	取組内容	負担金希望
広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃	—
GARDEN of RIVER,SENDAI project	広瀬川大橋 水辺の青空学校	—
広瀬川灯ろう流し実行委員会	広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートのタベ」	—
関山街道フォーラム協議会	「関山街道の四季フォトコンテスト」記録パンフ作成	○

13

3.事業負担金の支出について(参考)



■令和7年度の広瀬川創生プラン事業負担金の支出希望事業および、申請額の上限について以下のとおり支出する予定である。

■令和7年度重点事業 負担金支出希望事業	負担金予算 上限額	総事業費
「関山街道の四季フォトコンテスト」記録パンフ作成 実行委員会設立:(仮称)「関山街道の四季フォトコンテスト」 記録パンフ作成実行委員会	151,000円	302,500円

※重点事業のうち自己資金による運営が困難な事業に負担金を支出する。

※負担金の上限は、総事業費の1/2までとする。

※仙台市を含む実行委員会を立ち上げて事業を実施する。

14

3.事業負担金の支出について(参考)

■過去の重点事業に対する負担金支出実績

年度	重点事業 負担金支出対象事業	負担金支出額
平成30年度	平成30年度「広瀬川で遊ぼう」(広瀬川で遊ぼう実行委員会)	45万円
//	第11回作並かつぱ祭り(作並かつぱ祭り実行委員会)	20万円
平成31・ 令和元年度	平成31年度「広瀬川で遊ぼう」(広瀬川で遊ぼう実行委員会)	45万円
//	第12回作並かつぱ祭り(作並かつぱ祭り実行委員会)	20万円
令和2年度	対象事業なし (新型コロナウイルス感染症の影響で「広瀬川で遊ぼう」・「作並かつぱ祭り」が中止)	—
令和3年度	//	—
令和4年度	//	—
令和5年度	広瀬川ミズベリング(広瀬川ミズベリング実行委員会)	26.2万円
令和6年度	対象事業なし	—